

第13回退職者連絡会総会を開催



12月3日、大阪市内において開催され、今後の運動方針が満場一致で可決されました。



会を代表して挨拶に立った山崎会長は、「まずは、皆さんの元気な姿を見ることができ嬉しく思う。コロナ禍を経て2回目の開催となるが、来年も元気な姿を見られることを心から願っている。これから冬に入り体調を崩しやすくなるが、無理をせず体調管理維持に努めてほしい。JR貨物では、新山口駅構内脱線事故、輪軸組立不正・北海道脱線事故と大きな事象が立て続けに発生し大変残念に思う。信頼回復に向け、生半可な気持ち捨て真剣に取り組むよう強くお願いしたい。共済関係では移行手続き等、大変手間を取らせているが、ご理解ご協力をお願いする。退職者連絡会として、予算的な部分も含め、今後、どのように活動していくか大きな分岐点であり、本日は活発な討議をお願いしたい」と述べられました。

来賓には、JR 連合退職者連絡会高野会長、貨物鉄産労辻村委員長にお越し頂き、高野会長からは、甚大化する自然災害への対応・政治課題・世界情勢・共済関係加入促進の取組み等について話され、辻村委員長からは、会社の情勢を中心に、安全問題・政策課題・組織課題・労働条件等が話されました。

議事について山崎会長が進行役を務め、質疑では、今後の取組みについて・輪軸組立不正や北海道脱線事故を含めた安全問題・共済関係・組織課題・政策課題等が出され、山崎会長、高野会長、辻村委員長が考えや意見を踏まえながら答弁しました。

総会終了後は懇親会を開催し、さらなる親睦を図りました。

